

交付運用報告書 MHAM豪ドル債券ファンド (毎月決算型)

追加型投信／海外／債券

第27作成期

作成対象期間 (2016年1月21日～2016年7月20日)

第157期(決算日 2016年2月22日) 第160期(決算日 2016年5月20日)
第158期(決算日 2016年3月22日) 第161期(決算日 2016年6月20日)
第159期(決算日 2016年4月20日) 第162期(決算日 2016年7月20日)



第162期末 (2016年7月20日)

基準価額	6,110円
純資産総額	85,237百万円
第157期～第162期 (2016年1月21日～2016年7月20日)	
騰落率	1.9%
分配金合計	360円

(注1) 以下本書において、基準価額および分配金は1万口当たりで表記しています。

(注2) 騰落率は税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注3) △(白三角)はマイナスを意味しています。(以下同じ)

運用報告書に関するお問い合わせ先

みずほ投信投資顧問株式会社 営業管理部



0120-324-431

(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

▶当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の委託会社のホームページの「ファンド・基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの情報ページにおいて「運用報告書(全体版)」で閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は、販売会社にご請求いただければ、当該販売会社を通じて交付いたします。



<http://www.mizuho-am.co.jp/>

お客さまの口座内容などに関するご照会は、お申込みされました販売会社にお尋ねください。

受益者(投資者)の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご投資頂いております「MHAM豪ドル債券ファンド(毎月決算型)」は、2016年7月20日に第162期決算を行いました。

当ファンドは、オーストラリアの信用力の高い公社債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を目指すことを目的としており、当作成対象期間につきましても、それに沿った運用を行いました。ここに、謹んで第157期から第162期までの運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

みずほ投信投資顧問株式会社は、2016年10月1日に新光投信株式会社、DIAMアセットマネジメント株式会社、みずほ信託銀行株式会社(資産運用部門)と統合し、商号をアセットマネジメントOne株式会社に変更する予定です(関係当局の認可等を前提とします)。

MIZUHO

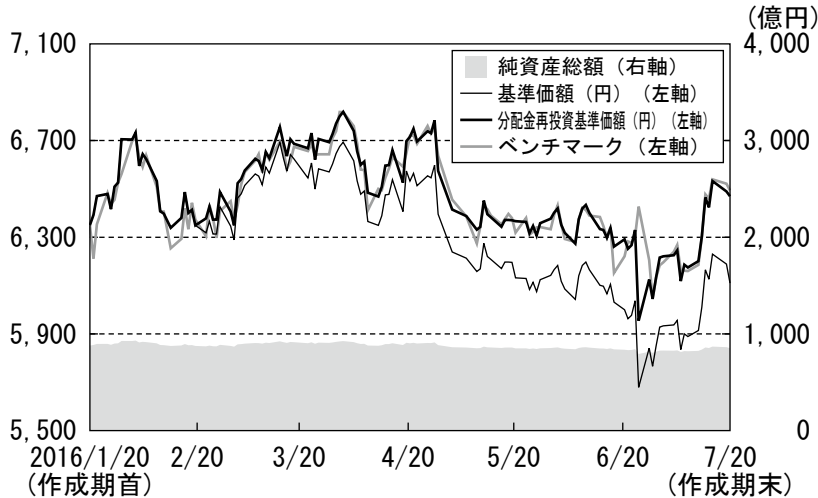
みずほ投信投資顧問

東京都港区三田三丁目5番27号
<http://www.mizuho-am.co.jp/>

運用経過

（2016年1月21日～2016年7月20日）

1 基準価額等の推移



第157期首 (作成期首)	6,350円
第162期末 (作成期末)	6,110円
(既払分配金)	(360円)
騰落率 (分配金再投資ベース)	1.9%

- (注1) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（為替ノーヘッジ・円換算ベース））は、作成期首の値を基準価額に合わせて指数化しています。なお、ベンチマークについては、最終ページの「指数に関して」をご参照ください。
- (注2) 作成期間中、最初の分配が実施された以前の期間は、基準価額と分配金再投資基準価額が重なって表示されています。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注4) 分配金を再投資するかどうかについては、受益者さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、受益者さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注5) 作成期間の各期の分配金については、後掲「8 分配金」をご参照ください。

2 基準価額の変動要因

「MHAM豪ドル債券マザーファンド」受益証券への投資を通じて、オーストラリアの公社債に投資を行った結果、市況が上昇したことなどから基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

3 1万口当たりの費用明細

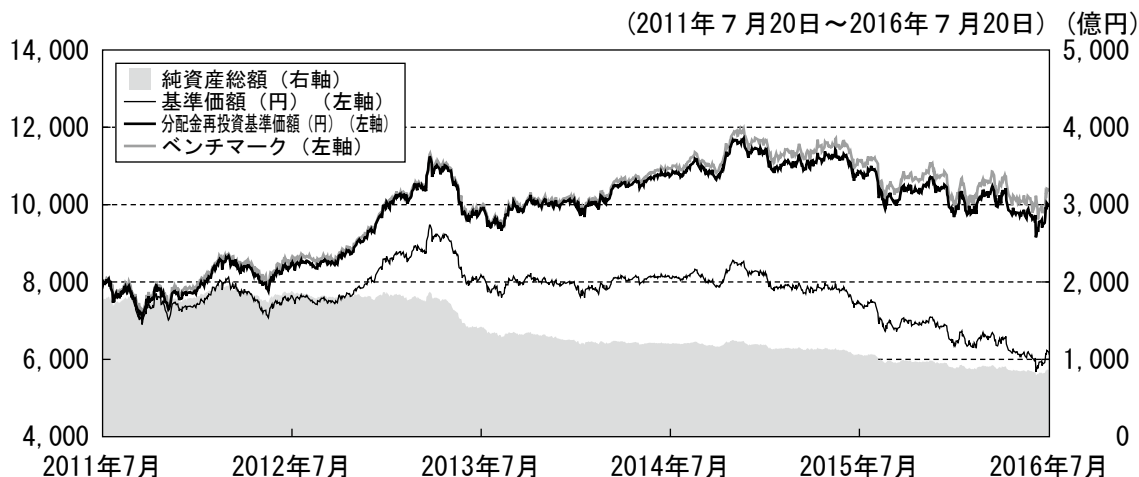
項目	第157期～第162期		項目の概要
	(2016年1月21日～2016年7月20日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	43円	0.671%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額（月末値の平均値）は6,369円です。
（投信会社）	(22)	(0.349)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(19)	(0.295)	販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.027)	受託会社分は、信託財産の管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 （先物・オプション）	0 (0)	0.001 (0.001)	(b)売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c)有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	1	0.017	(d)その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	(1)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	44	0.689	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、(b)売買委託手数料、(c)有価証券取引税および(d)その他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

4 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（為替ノーヘッジ・円換算ベース））は、期初（2011年7月20日）の値を基準価額に合わせて指数化しています。

(注2) 当該期間中、最初の分配が実施された以前の期間は、基準価額と分配金再投資基準価額が重なって表示されています。

(注3) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注4) 分配金を再投資するかどうかについては、受益者さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、受益者さまの損益の状況を示すものではありません。

[最近5年間の年間騰落率等]

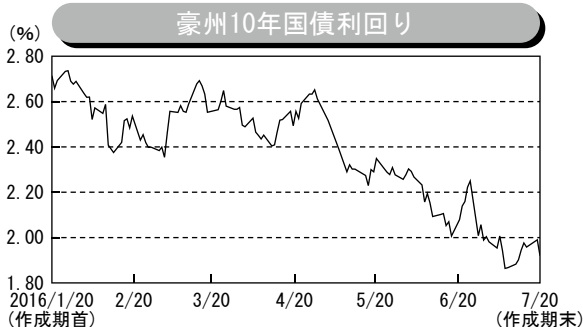
	2011年7月20日 期初	2012年7月20日 決算日	2013年7月22日 決算日	2014年7月22日 決算日	2015年7月21日 決算日	2016年7月20日 決算日
基準価額（分配落ち） (円)	7,998	7,623	8,114	8,089	7,424	6,110
期間分配金合計（税込み） (円)	—	830	720	720	720	720
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	6.4	16.2	9.1	0.4	△8.2
ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（為替ノーヘッジ・円換算ベース）騰落率 (%)	—	8.4	15.3	9.2	1.8	△7.0
純資産総額 (百万円)	177,793	187,940	141,125	120,150	105,856	85,237

(注) ベンチマーク（ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（為替ノーヘッジ・円換算ベース））は、基準価額への反映を考慮して前営業日の値を用いております。

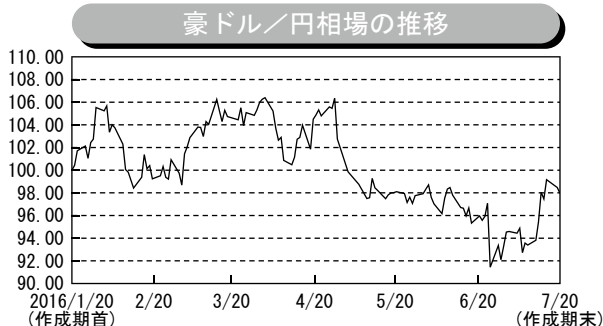
※指数については、最終頁の「指数に関して」をご参照ください。

5 投資環境

豪州債券市況と為替市場



豪州の10年国債利回りは低下（債券価格は上昇）しました。作成期首から2月にかけては、世界的な株安などからグローバルに利回りが低下したことなどを受けて低下しました。3月から4月はレンジ内の推移となり、その後5月の豪州準備銀行（RBA）理事会で、政策金利が引き下げられたことや、四半期金融政策報告で物価の見通しが引き下げられたことなどから再び低下しました。また、英国の欧州連合（EU）離脱決定なども利回り低下要因となりました。社債と国債の利回り格差は、リスク許容度の低下などからやや拡大しました。



(注) 作成期首を100として指数化しています。

為替市場では、豪ドルは対円で下落しました。世界的な株安を背景として投資家のリスク回避姿勢が高まったことや、豪州の1-3月期消費者物価指数が市場予想を下回り、利下げ観測が台頭したことなどが下落要因となりました。また、英国のEU離脱決定は豪ドル安円高要因となりましたが、影響は一時的となりました。

6 ポートフォリオ

当ファンド

「MHAM豪ドル債券マザーファンド」受益証券の組入比率を高位に維持しました。なお、組入外貨建資産に対して為替ヘッジを行いませんでした。

MHAM豪ドル債券マザーファンド

利回り水準が相対的に高く魅力的と考えられる社債を中心としたポートフォリオを維持しました。高格付けで国債よりも高い利回りが期待できる国際機関債などの組入比率を引き上げた一方、社債などの組入比率を引き下げました。格付別では、A格やAAA格の比率を引き下げた一方、AA格の比率を引き上げました。また、BBB格であるウールワースの債券は保有を継続しました。修正デュレーションについては、おおむねベンチマーク並みからやや長めの水準を中心に調整しました。債券の組入比率については、高位を維持しました。

上記の通り運用を行った結果、基準価額は上昇しました。主な変動要因は以下の通りです。

<主な上昇要因>

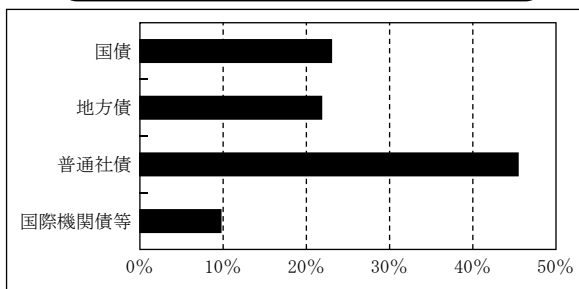
- ・債券価格の上昇。
- ・債券投資による利息収入。

<主な下落要因>

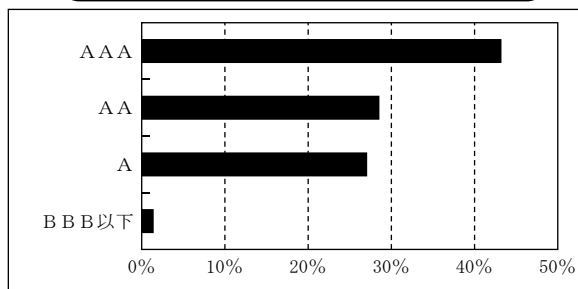
- ・豪ドルが対円で下落したこと。

作成期末

種別保有比率



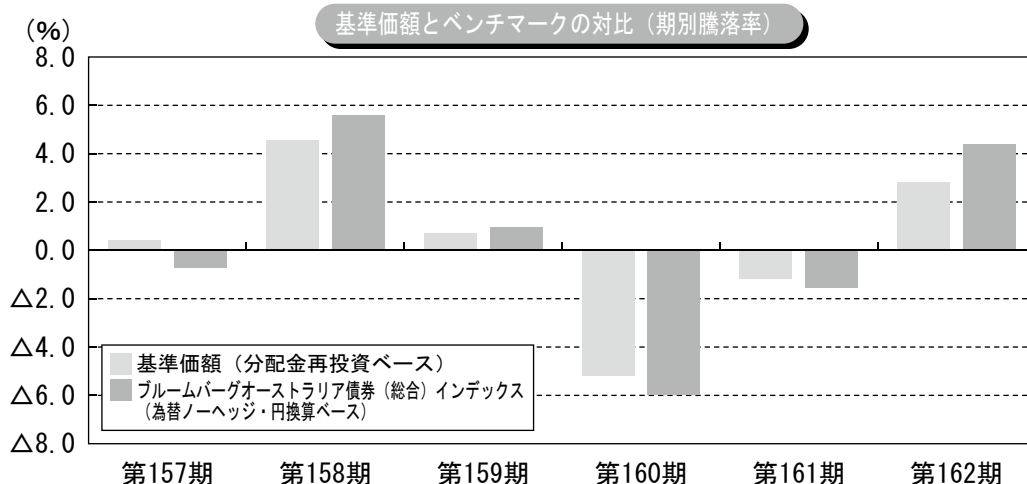
格付別保有比率



(注) 保有比率についてはMHAM豪ドル債券マザーファンドの債券部分を100%換算したものをを用いております。格付けはS&P、Moody'sのうち、高い方の格付けを採用しています。(表記方法はS&Pに準拠)

7 ベンチマークとの差異

「MHAM豪ドル債券マザーファンド」受益証券への投資を通じてオーストラリアの公社債に投資した結果、基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は、ベンチマークを0.4%下回りました。利回り水準が相対的に高い社債をベンチマークに対して多めに組み入れたことなどがプラスに寄与しましたが、信託報酬などのマイナス要因を上回ることが出来ませんでした。



8 分配金

当作成期の収益分配金は、利息収入相当分を中心とし、基準価額の水準、市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

[1万口当たりの分配原資の内訳]

（税込み）

項目	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期	第162期
	2016年1月21日 ～2016年2月22日	2016年2月23日 ～2016年3月22日	2016年3月23日 ～2016年4月20日	2016年4月21日 ～2016年5月20日	2016年5月21日 ～2016年6月20日	2016年6月21日 ～2016年7月20日
当期分配金（円）	60	60	60	60	60	60
（対基準価額比率）（%）	0.941	0.908	0.910	0.969	0.990	0.972
当期の収益（円）	20	23	21	16	15	21
当期の収益以外（円）	39	36	38	43	44	38
翌期繰越分配対象額（円）	1,114	1,077	1,039	995	951	913

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税込み）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

■ 今後の運用方針

当ファンド

当ファンドの運用方針に従い、「MHAM豪ドル債券マザーファンド」の組み入れを高位に維持します。

MHAM豪ドル債券マザーファンド

豪州経済は、主要輸出相手国である中国の経済低迷の影響はあるものの、非鉱業セクターが低金利に下支えされていることなどから、底堅さを維持するものと思われれます。

豪州の10年国債の利回りは、底堅さを維持すると考えられる豪州経済を背景として、中長期的には緩やかに上昇すると考えます。ただし、短期的には、グローバルな利回り低下の影響などから、利回りは低下する可能性があると考えます。

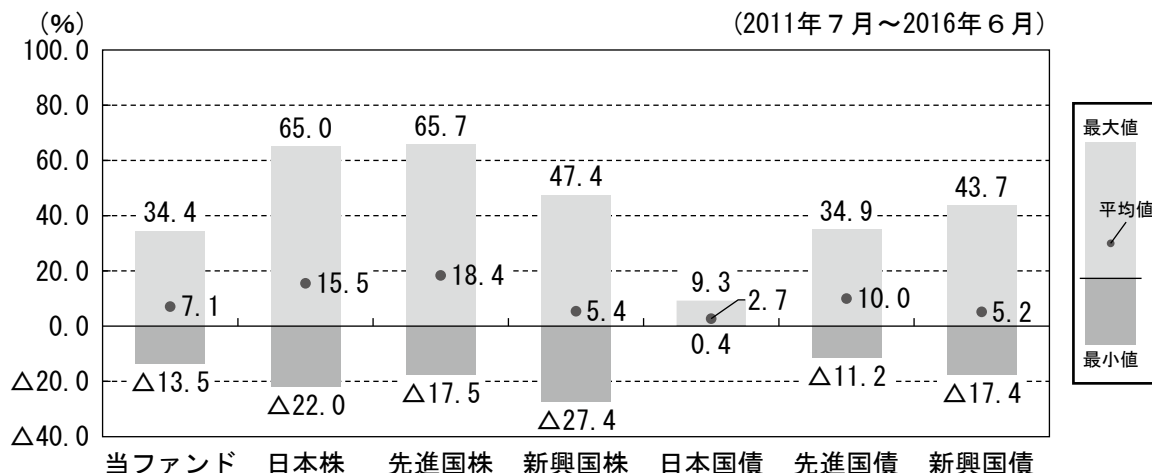
修正デュレーションは、上記見通しに基づき、ベンチマーク比やや長めとしますが、見通しに応じて機動的に対応する方針です。また、債券の種別配分については、利回り水準が魅力的な社債の組み入れを中心として、割安な銘柄を発掘していく方針です。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	信託期間は2003年2月7日から無期限です。 なお、クローズド期間はありません。
運用方針	オーストラリアの信用力の高い公社債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を目指します。
主要投資対象	
当ファンド	MHAM豪ドル債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
MHAM豪ドル債券マザーファンド	オーストラリアの信用力の高い公社債を主要投資対象とします。
当ファンドの運用方法	ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（為替ノーヘッジ・円換算ベース）をベンチマークとして、中・長期的にベンチマークを上回る運用成果を目指します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 MHAM豪ドル債券マザーファンドにおける円の余資運用以外の運用の指図に関する権限を、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに委託します。
分配方針	第3期以降の毎期、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。以下同じ。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、原則として利息収入相当分を中心とし、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。 なお、売買益については、原則として毎年5月および11月の決算時に委託会社が基準価額の水準ならびに分配対象額等を勘案し決定します。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用しています。（ファミリーファンド方式とは、投資者の皆さまからお預かりした資金をまとめてベビーファンドとし、その資金をマザーファンドに投資することにより、その実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。）

（参考情報）代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 上記のグラフは2011年7月から2016年6月の5年間における1年騰落率（毎月末時点における期間1年間の騰落率を5年（60ヵ月）分取得したデータ）の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。（グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。）なお、上記騰落率は直近の月末から60ヵ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額をもとに計算していますので、基準価額をもとに計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

☆各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）配当込み

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み・円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（ヘッジなし・円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については最終頁の「指数に関して」をご参照ください。

当該投資信託のデータ

1 当ファンドの組入資産の内容

(2016年7月20日現在)

(組入銘柄数：1銘柄)

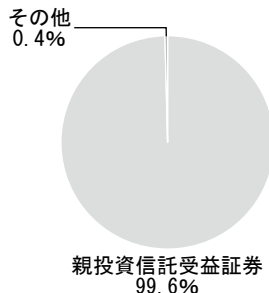
☆組入ファンド

	第162期末（2016年7月20日）
	比率
MHAM豪ドル債券マザーファンド	99.6%

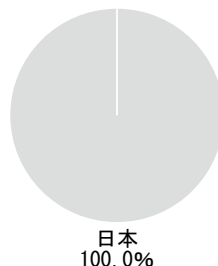
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の比率を表示しています。

(注2) 詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

☆資産別配分



☆国別配分



☆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する比率です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計（除く現金）に対する比率です。

(注2) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

2 純資産等

項目	第157期末	第158期末	第159期末	第160期末	第161期末	第162期末
	2016年2月22日	2016年3月22日	2016年4月20日	2016年5月20日	2016年6月20日	2016年7月20日
純資産総額	87,136,451,495円	90,365,960,040円	90,247,685,231円	85,036,204,790円	83,610,618,799円	85,237,127,612円
受益権総口数	137,917,173,604口	138,059,465,753口	138,158,467,541口	138,671,105,167口	139,350,626,835口	139,494,744,838口
1万口当たり基準価額	6,318円	6,545円	6,532円	6,132円	6,000円	6,110円

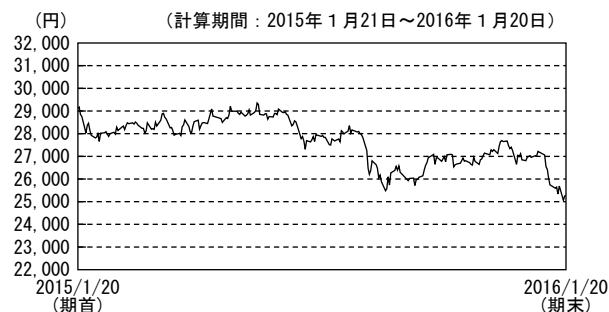
(注) 当作成期間（第157期～第162期）における追加設定元本額は9,961,196,770円、一部解約元本額は8,916,221,554円です。

3 組入上位ファンドの概要

MHAM豪ドル債券マザーファンド

(2016年1月20日現在)

☆基準価額の推移



☆1万口当たりの費用明細

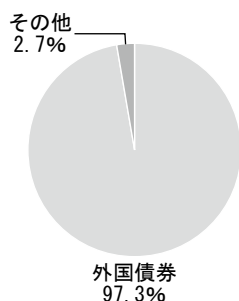
項目	(2015年1月21日～2016年1月20日)	
	金額(円)	比率(%)
平均基準価額	27,686	—
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	1 (1)	0.002 (0.002)
(b) 有価証券取引税	—	—
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	9 (9) (0)	0.034 (0.034) (0.000)
合計	10	0.036

☆組入上位銘柄

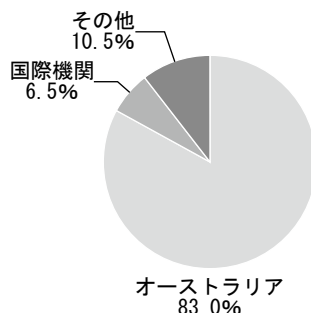
(組入銘柄数：93銘柄)

順位	銘柄名	債券種別	通貨	利率	償還日	比率
				%		%
1	AUSTRALIA	国債	オーストラリアドル	4.75	2027/04/21	8.1
2	AUSTRALIA	国債	オーストラリアドル	5.50	2023/04/21	7.5
3	AUSTRALIA	国債	オーストラリアドル	4.50	2033/04/21	7.0
4	QUEENSLAND TREASURY CORP	地方債	オーストラリアドル	6.25	2020/02/21	3.7
5	MEDALLION TRUST	普通社債	オーストラリアドル	6.50	2042/11/22	3.0
6	WESTERN AUSTRALIA TREASURY CORP	地方債	オーストラリアドル	7.00	2021/07/15	2.6
7	NEW SOUTH WALES TREASURY CORP	地方債	オーストラリアドル	6.00	2022/03/01	2.5
8	ETSA UTILITIES FINANCE PTY LTD	普通社債	オーストラリアドル	6.25	2017/09/07	2.4
9	NEW SOUTH WALES TREASURY CORP	地方債	オーストラリアドル	5.00	2024/08/20	2.4
10	MACQUARIE UNIVERSITY	普通社債	オーストラリアドル	6.75	2020/09/09	2.3

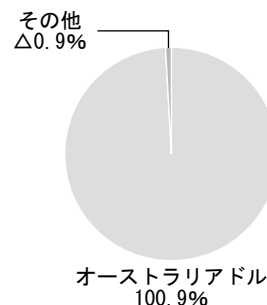
☆資産別配分



☆国別配分



☆通貨別配分



(注1) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、当マザーファンドの直近の計算期間末のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入れファンドの直近の計算期間のものです。費用の項目の概要については2頁をご参照ください。

(注3) 比率は純資産総額に対する比率です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計（除く現金）に対する比率です。

(注4) その他は100%と配分比率の合計との差になります。そのため、その他を除く配分比率の合計が100%を超過する場合にはマイナス表示になります。

(注5) 当マザーファンドが保有する全銘柄に関する情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

指数に関して

当ファンドのベンチマークについて

ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（為替ノーヘッジ・円換算ベース）

「ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス [正式名称：Bloomberg AusBond Composite Index] 」とは、オーストラリアで最も一般的な債券指数の1つで、国債・州政府債・事業債等を含む、固定利付債券を対象とした指数です。なお、当ファンドがベンチマークとする「為替ノーヘッジ・円換算ベース」とは、委託会社が同インデックスを円ベースに換算したものです。

※ブルームバーグおよびブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックスは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標またはサービスマークであり、みずほ投信投資顧問に対してライセンスされています。ブルームバーグは、ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックスに関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性も保証するものではありません。

「（参考情報）代表的な資産クラスとの騰落率の比較」について

東証株価指数（TOPIX）

「東証株価指数（TOPIX）」とは、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。

MSCI コクサイ・インデックス

「MSCI コクサイ・インデックス」とは、MSCI インク（以下、MSCI）が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI に帰属します。またMSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス

「MSCI エマージング・マーケット・インデックス」とは、MSCI が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI に帰属します。またMSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI 国債

「NOMURA-BPI 国債」とは、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

シティ世界国債インデックス（除く日本）

「シティ世界国債インデックス（除く日本）」とは、Citigroup Index LLCが開発した債券指数で、日本を除く世界主要国の国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数は、Citigroup Index LLCの知的財産であり、指数の算出、数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、Citigroup Index LLCが有しています。

JPMorganGBI-EMグローバル・ディバースファイド

「JPMorganGBI-EMグローバル・ディバースファイド」とは、JPMorgan・セキュリティーズ・インクが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はJPMorgan・セキュリティーズ・インクに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※株式の指数は、配当を考慮したものです。また、海外（先進国・新興国）の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

みずほ投信投資顧問株式会社

Mizuho Asset Management Co., Ltd.